

2019年度 第3回 CPC研究会

日時：7月26日(金) 13:30~16:30

会場：化学会館 501 会議室

(〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5)

参加費：維持会員・大学官公庁関係＝無料 / 非会員＝20,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30~14:55

「高耐熱リチウムイオンキャパシタの開発」

株式会社ジェイテクト 三尾 巧美 氏

- 1) はじめに
- 2) 開発背景
- 3) 高耐熱リチウムイオンキャパシタ開発
- 4) 今後の展望

自動車の電動化に伴って複雑・多様化する電源ニーズに対応するため、出力性能に優れたキャパシタを電池と併用する事例が増えています。エネルギー密度に優れたリチウムイオンキャパシタの自動車への適用が期待されていますが、動作温度範囲の狭さが問題となっていました。本講演では、リチウムイオンキャパシタの動作温度拡大に関する取組みと、世界で初めて自動車の温度要求範囲に適合した開発品の性能についてご紹介致します。

15:05~16:30

「放射光軟X線吸収分光法による炭素材料の状態分析技術の開発と応用」

兵庫県立大学大学院 村松 康司 氏

- 1) 放射光軟X線吸収分光法
- 2) 炭素材料の状態・定量分析
- 3) 第一原理計算による構造解析
- 4) 新しい計測技術の開拓

放射光軟X線吸収分光法は元素選択的かつ軌道選択的に電子情報を抽出できるため、複雑構造を有する炭素材料の化学状態分析に有効です。さらに、第一原理計算による理論解析と組み合わせれば、電子状態や局所構造を解析することができます。本講演では、黒鉛系炭素材料に注目して、指紋分析による状態・定量分析と、CK 端 XANES の理論解析によるエッジ炭素およびヘテロ環に関する局所構造解析について紹介します。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 029-861-8963

7月26日の第3回研究会に出席します(化学会館 501 会議室)

お名前:

維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail:

交通案内

公益社団法人 日本化学会 化学会館

所在地 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

<http://www.chemistry.or.jp/access/index.html>

- JR 中央線・総武線 「御茶ノ水」駅 御茶ノ水橋口 徒歩 3 分
- 地下鉄丸の内線 「御茶ノ水」駅 出口 2 徒歩 4 分
- 地下鉄千代田線 「新御茶ノ水」駅 出口 B1 徒歩 5 分

